

寝屋川西地域で パル委員さんとの交流会を開催しました

2026.3.20(金・祝)

おおさかパルコープは毎年5月9日に平和への想いを人から人へリレーする(受け渡し、つないでいく)ために御堂筋を歩く「ピースリレー」という取り組みを行っています。

平日だとなかなか参加出来ない方も多のですが、今年は土曜日開催のためたくさんの組合員さんが参加してくださいました。今回の交流会ではピースリレーで持って歩くミニ旗を作成しました😊

飾ったパーツや、ベースの台紙の色は違っていても、パル子ちゃんのイラストや絵本作家の長谷川義史先生のイラストで一体感がある、色とりどりのオリジナリティ溢れるミニ旗が出来ました! ✨



「センスが……」
といいながらも
みなさん楽しそうに
作成されていました。

その後は「コープクオリティ」商品の試食をしました。深緑色のパッケージでおなじみのコープクオリティは「高品質」というだけではなく、「安心して選べる、コープ基準のいい品質」ということ。

安全や美味しさはもちろん、「大切な人に食べてもらいたい」を目指した素晴らしいシリーズなんです。



- 今回試食したのは
- 北海道の帆立を味わうクリーミーチャウダー
 - こだわりの揚げおかき(みりん醤油)
 - 発酵バター仕立てのしっとりバウムクーヘン

バウムクーヘンは平和のお菓子
今回の試食も平和への想いを
ピースリレーにつなぐ一歩です

帆立がこれでもかというほどたっぷり入ったスープ
シンプルなのにクセになる香ばしいおかき
さすがコープクオリティ!と思わせる美味しさでした

コープのバウムクーヘンが 2026年3月21日のMBS/TBS系全国ネットサタプラ

サタプラ 毎週(土)あさ7:30~9:25生放送

ひたすら試してランキング

総合ランキング

1位 になりました!

発酵バターの酸味とコクとたっぷり卵の風味を味わえる濃厚バウムクーヘンです。しっとり・ふんわり食感に仕上げました。

CO-OP 発酵バター仕立てのしっとりバウムクーヘン 4個入

平和のお菓子 バウムクーヘン

大正時代に、お菓子作りが得意なカール・ユーハイムという人がいました。ユーハイムは、第一次世界大戦時、ドイツ人捕虜として日本に連れてこられ、大阪市大正区にあった大阪俘虜収容所に収容され、その後、^{ひのしま}広島に似島検疫所に移送されました。当時、日本は捕虜を大切に扱っており、地域の人と交流など、捕虜の生活も驚くほど自由なものでした。彼は収容所でバウムクーヘンを焼く機械を自作し、同じく捕虜だった仲間や日本人と共にお菓子作りに励んだのです。大正8年(1919年)、広島県物産陳列館(今の原爆ドーム)でドイツ人捕虜による作品展覧会が開かれ、ユーハイムは、日本初のバウムクーヘンを披露しました。そこで大変な人気を集めたお菓子バウムクーヘンは、その後日本中に広がっていききました。日本で作られている洋菓子の中でも、これほど戦争と平和を象徴するシンボルと密接につながっているものは他にないかも知れません。

なんとこのバウムクーヘン試食した翌日にテレビのランキングで1位となりました! その名の通りしっとりしていて1位にふさわしい味わいでした★

※放送後は爆発的に売れ、品切れとなりました。現在は店舗でのみ購入可能です